

## 第2学年 国語科学習指導案

場 所 桜山ホール・図工室

児 童 男子15名 女子12名 計27名

指導者 千葉 奈津美

- 1 単元名 しょうかいしたいことがつたわるように話そう  
中心学習材 たからものをしょうかいしよう（東京書籍 2年下）

### 2 単元について

#### (1) 学習材について

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「(1) イ相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。」を受けて設定したものである。

本単元は、自分の宝物について、クラスの友達に紹介するという言語活動を設定している。「始め」「中」「終わり」という構成に基づき、何をどのような順序で話せばよいかを考えることと、少人数で話す練習を通して話し方を考えることの両面から、自分が紹介したことが伝わるように話す力を身に付けることができる学習材である。

#### (2) 児童について

本学級の児童は、1年「はなしたいなききたいな」では、夏休みの思い出の中から、みんなに話したいものを詳しく思い出して話す学習をしている。2年「うれしくなることばをあつめよう」では、質問したり質問に答えたりしながら話をつないでいく学習をしている。これまでの学習を通して、メモに書いたものを少人数で発表することは意欲的に行っているが、相手意識をもって自分の考えを発表したり、自分の発表の仕方を振り返ったりする力が身に付いているとは言い難い。

また、本学級の児童は、自分が伝えたいことを決めたり、少人数で発表したりすることに興味をもって学習している。しかし、全体の前で発表することに苦手意識をもっている児童もいる。

#### (3) 指導について

第1次では、自分の宝物を友達に伝えることについて例を挙げることで意欲を喚起し、経験を振り返りながら自分の宝物について考え、宝物発表会をするという単元のゴールを設定する。

第2次では、教科書に例示されている宝物紹介と伝わりにくい宝物紹介を聞き比べ、聞く人によく伝わる話し方について考えさせる。その際、「始め」「中」「終わり」の組み立てが意識できるようなワークシートを用意する。また、紹介したい内容を短冊に書き、並べ替えながら聞く人によく伝わる順序について考えられるようにする。さらに、練習の様子を撮影し、自分の発表の様子を振り返ったり、友達に助言し合ったりできる場を設定する。

第3次では、宝物発表会を通して、自分や友達の発表の仕方のよいところを見付けるようにしていきたい。また、学習を振り返り、身に付けた「ことばの力」を確かめ、生活に生かせる場面についても考えさせていく。

#### (4) 単元の目標

- ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。 【知識及び技能】(1) イ
- ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】A(1) ア
- ・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】A(1) イ
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

(5) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 (1)イ	①「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ)	①進んで相手に伝わるように、話す事柄の順序を考え、学習の見通しをもって話す内容をメモしたり、話す練習をしたりして、みんなの前で発表しようとしている。

(6) 単元の指導計画・評価計画 (全7時間)

次	時	ねらい	・主な学習活動 ☆主な ICT 活用	評価規準
第1次	1	・自分の宝物をみんなの前で紹介するという学習の見通しをもつことができる。	・自分の宝物について思い浮かべ、話す対象を決める。 ・学習課題を共有し、学習計画を立て、見通しをもつ。	
第2次	2	・紹介したい宝物を決め、観点に沿って話す内容を考えることができる。	・宝物について、みんなに話すことを考える。 ☆電子黒板で、話し方の見本動画を提示する。(A1)	【思考・判断・表現①】ノート 経験したことなどから紹介したい宝物について決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいるか確認する。
	3 4	・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てに沿って、話す内容をメモに書くことができる。	・宝物について話すことを、「はじめ」「中」「終わり」の順で整理する。 ☆電子黒板で「はじめ」「中」「終わり」が示されている、話す原稿を提示する。(A1)	【思考・判断・表現②】ワークシート 「はじめ」「中」「終わり」の組み立てに沿って、話す事柄やその内容の順序を考えているか確認する。 【主体的に学習に取り組む態度①】観察 進んで話す事柄の順序を考えているか確認する。
	5 本時	・話し方について振り返る中で、よりよい姿勢や声の出し方になるように改善を図り、話すことができる。	・メモに書いたことをもとに、話す練習をする。 ☆タブレットで練習の様子を撮影し、それを見返しながら振り返る。(B3・C2)	【知識・技能①】ワークシート・観察 タブレットの映像を見て、自分の姿勢や視線、声の出し方に注意し、話し方を見直して改善しているか確認する。
第3次	6 7	・メモをもとに、相手の人数や場に応じて、宝物を紹介することができる。	・みんなに伝わるように、宝物について話す。	【知識・技能①】観察 姿勢や口形、発声や発音に注意し、聞き手を意識して話し手に伝わるように話しているか確認する。

	・学習を振り返ることができる。		【主体的に学習に取り組む態度①】観察 進んでこれまでの学習内容を生かして話す練習をし、みんなの前で発表しようとしているか確認する。
--	-----------------	--	--

### 3 本時について

#### (1) 目標

話し方について振り返る中で、よりよい姿勢や声の出し方になるように改善を図り、話すことができる。

#### (2) 評価規準

おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
タブレットの映像を見て、自分の姿勢や視線、声の出し方に注意し、話し方を見直して改善している。【知識・技能】	教師と一緒にタブレットを見ながら発表を振り返ったり、ことばの力に基づいて発表している友達のよいところをまねするように助言したりする。

#### (3) ICT活用のねらい

- ・話の構造や話す速さ、声の大きさに注意して自分の発表を振り返ることができるように、タブレットのカメラ機能で動画を撮影し、見返したり、途中で止めたりしながら練習をする。
- ・聞く人に伝わる話し方を理解させるために、友だちの発表の様子を電子黒板で提示し、全体で学び合う。

#### (4) 分類方法

思考を深める学習 (B3) 協働の意見整理 (C2)

#### (5) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点・評価
導入          6分	1 前時を想起する。 ○聞く人に伝わるように話すために大切な「ことばの力」を確認する。 ①「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで話す。 ②「はじめ」で、何を紹介するのかを話す。 ③聞く人に聞こえる声の大きさや話す速さを考えて話す。 ○伝えたい相手を確認する。  2 学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習内容を掲示し、想起しやすいようにする。</li> <li>・書いたメモを手元に用意し、前時の自分の学習を振り返りながら「ことばの力」を想起できるようにする。</li> <li>・聞く人に伝わるように話すために大切なことができているかを考え、練習していくという見通しをもたせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>あい手によくつたわる話し方を考えながら、話すれんしゅうをしよう。</p> </div>

<p>展開</p> <p>35分</p>	<p>3 見通しをもつ。</p> <p>○練習の仕方を確認する。</p> <p>①役割分担をする。 (話し手, 聞き手, 記録)</p> <p>②話す練習をする。</p> <p>③振り返りをし, 気付いたことを伝え合う。*分担を変え, 繰り返す。</p> <p>4 読む練習をする。(3人組)</p> <p>○話し手は, 聞き手に向かって話す。</p> <p>○記録者は, 動画に撮る。</p> <p>○動画を見返して確認をする。</p> <p>○気が付いたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手を向いて話すといよい。</li> <li>・前よりゆっくり読むことができた。</li> <li>・宝物について詳しく話していた。</li> </ul> <p>5 学び合う。(全体)</p> <p>○友達のよいところを見付け, 伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり前を見て話している。</li> <li>・聞きやすい声の大きさだった。</li> <li>・聞き取りやすい速さだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の仕方がいつでも確認できるように黒板に位置付ける。</li> <li>・3人一組を作り, 自分の担当を確認し, 自分たちで助言し合うことを確認する。</li> </ul> <p>・動画で練習の様子を記録させ, よかったところや, 気付いたことを話し手に伝えさせる。</p> <p>・動画を見返しながら, 自分の発表を振り返らせ, 宝物発表会の際に気を付けたいことをワークシートに書き込ませる。</p> <p><b>ICT</b> ☆タブレット内のカメラ機能を使い, 発表者の練習の様子を動画で撮影する。その動画を見返したり, 途中で止めたりしながら自分や友だちの発表を振り返り, 助言し合う。(B3)</p> <p>・よく伝わる話し方をしてきた児童の動画を提示し, よいところを話し合わせる。</p> <p><b>ICT</b> ☆伝わりやすい話し方になった児童の動画を電子黒板に写して全体で共有する。(C2)</p> <p><b>【評価】</b> タブレットの映像を見て, 自分の姿勢や視線, 声の出し方に注意し, 話し方を見直して改善しているか確認する。(ワークシート, 観察)</p>
<p>終末</p> <p>4分</p>	<p>6 振り返る。</p> <p>○3人組で発表練習をして, よかったこと。</p> <p>○宝物発表会で気を付けたいこと。</p> <p>7 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習で, 練習をしてよかったこと, 分かったことや気付いたこと, 次時で気を付けたいところなどを振り返りに書かせる。</li> <li>・次時は, 今日の練習をもとに全体の前で発表することを確認する。</li> </ul>

(6) 板書計画

<p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れんしゅうをしてよかったこと</li> <li>・だからものはつびよう会で気をつけたこと</li> </ul>	<p><b>友だちのよいところ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり前を見て話している。</li> <li>・聞きやすい声の大きさだった。</li> <li>・聞き取りやすいはやさだった。</li> </ul>	<p>(1) <b>れんしゅうの仕方</b> 話し手↓はつびよう 聞き手↓聞く きろく↓↓どうがをとる</p> <p>(2) アドバイスタイム こうかん</p>	<p><b>ことばの力</b></p> <p>① 「はじめ」「中」「終わり」</p> <p>② 「はじめ」↓何を紹介するのか</p> <p>③ 聞く人に聞こえる声の大きさや話すはやさ</p>	<p>④ <b>か</b> あい手によくつたわる話し方を考えながら, 話すれんしゅうをしよう。</p>
--	---	--	---	---